

北部地域巡回公共交通の実証実験に ついて

令和4年度第4回調布市公共交通活性化協議会
令和5年2月20日（月）

- 1 利用者数の推移
- 2 アンケート結果の概要・まとめ
- 3 北部地域巡回公共交通の実証実験（無料）のまとめ

アンケートの実施概要

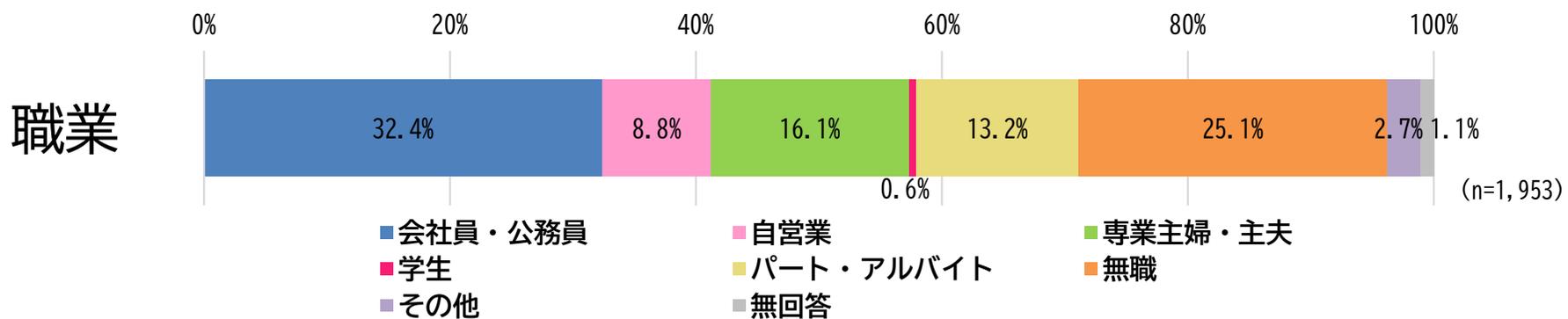
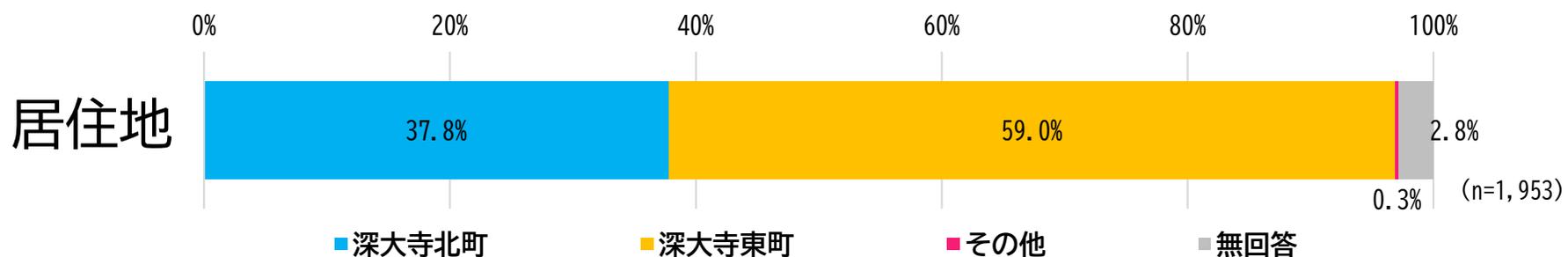
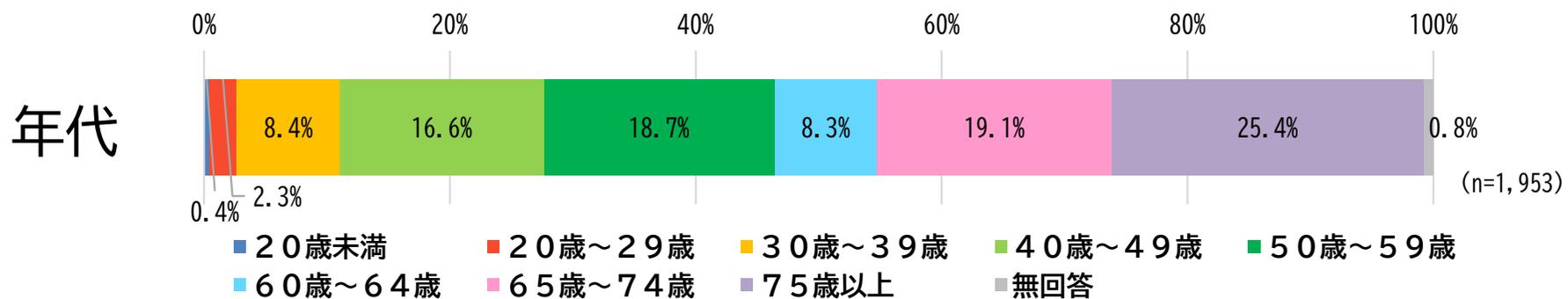
北部地域巡回公共交通の実証実験（無料）の利用状況の把握や今後の運行形態の検討の参考とするために対象地域へアンケート調査を実施

期間	令和4年12月20日（火）～令和5年1月10日（火）
配布方法	市報ちようふ12月20日号とともに、深大寺北町・深大寺東町の全世帯（8,643通）にポスティング
回答状況	郵送………1,437件 Web………516件 ※スマートフォン等によるオンライン回答 合計………1,953件



アンケート結果の概要

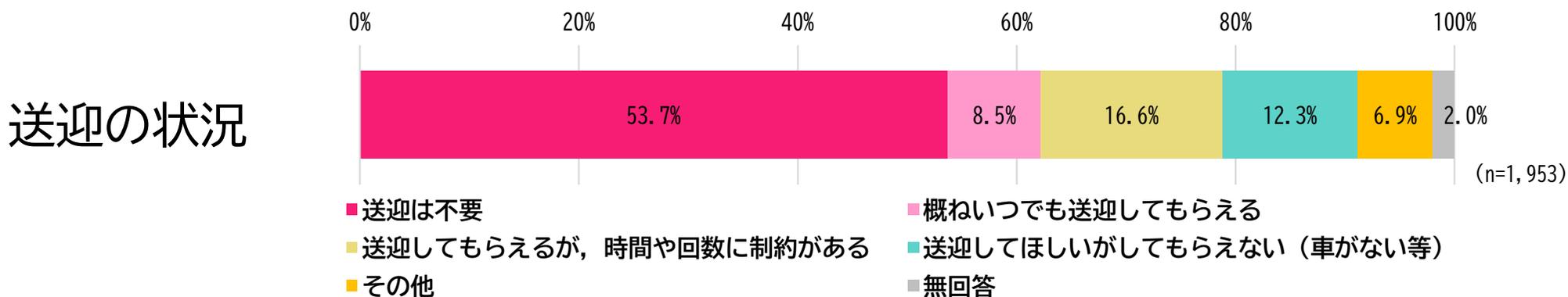
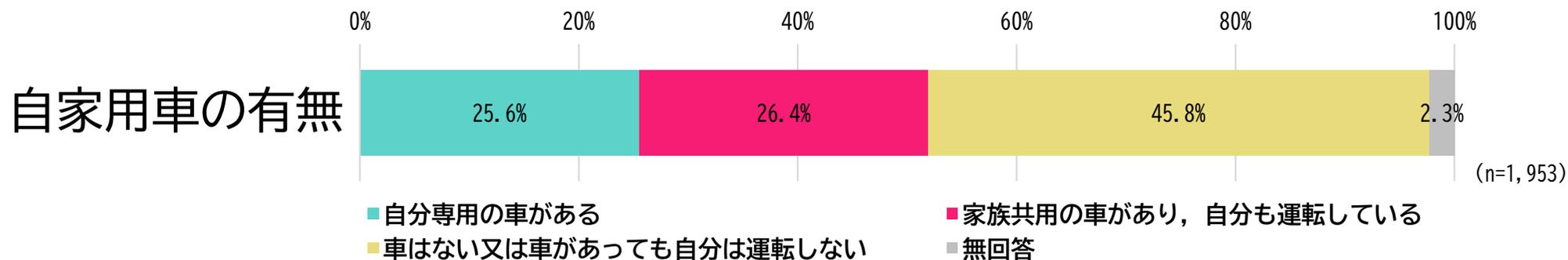
・属性 (1 / 2)



アンケート結果の概要

・属性 (2 / 2)

- 「自分専用の車がある」又は「家族共用の車があり、自分も運転している」との回答が52%
- 「送迎してもらえるが、時間や回数に制約がある」又は「送迎してほしいがしてもらえない」との回答が約28%

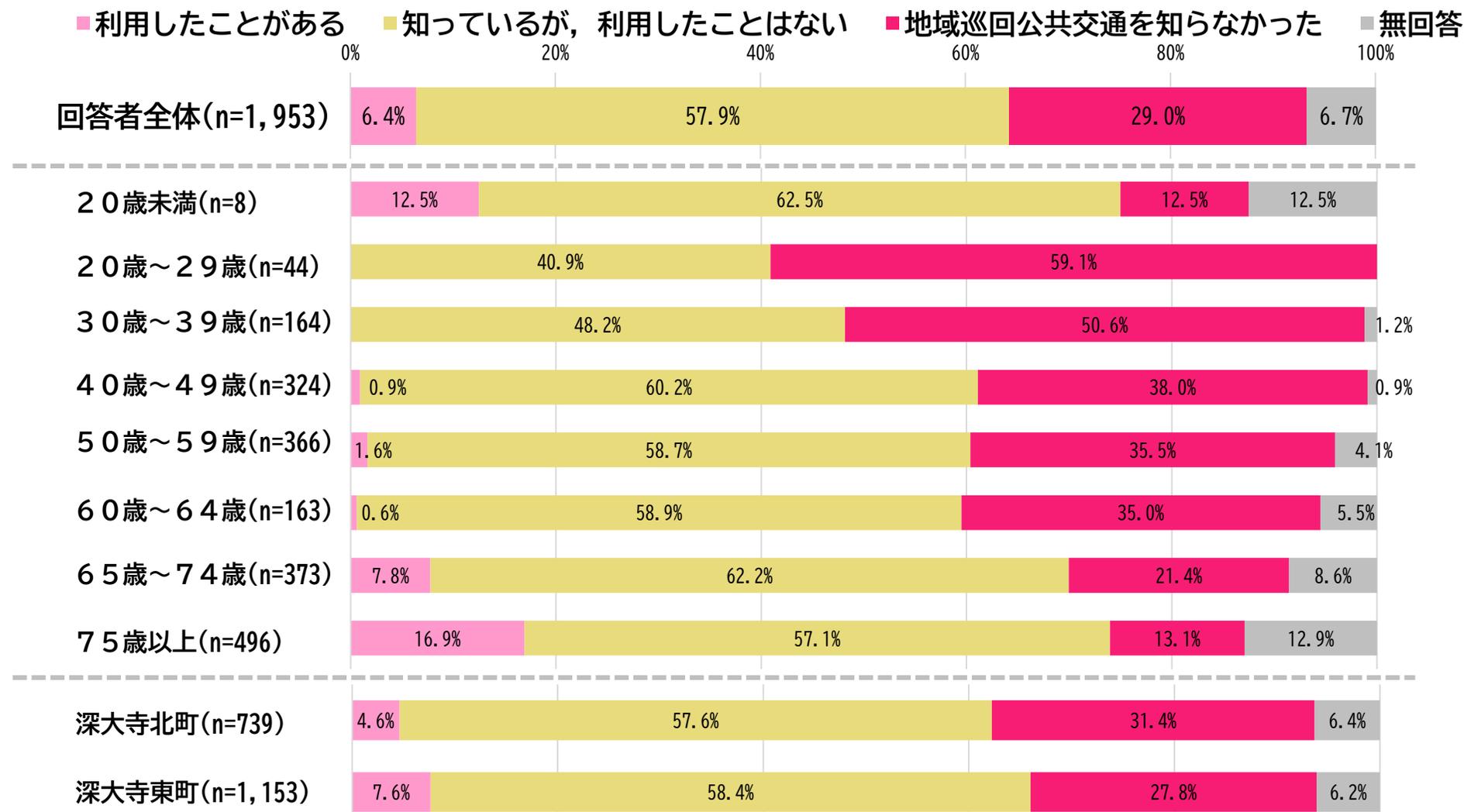


アンケート結果の概要

・北部地域巡回公共交通の認知度

○ 全体では、約64%が認知

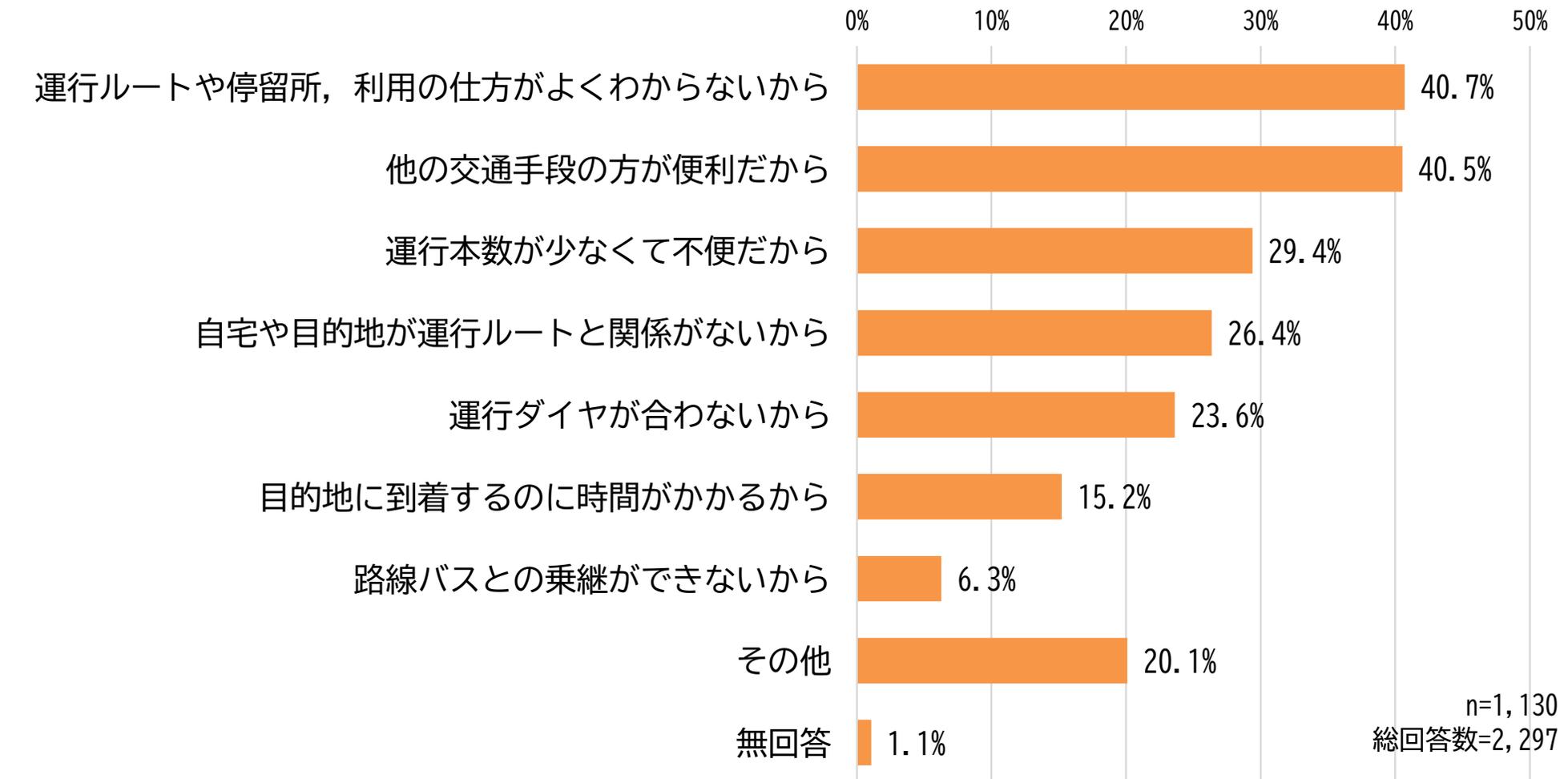
○ 30歳代では約48%、40歳代以上では60%前後が認知



アンケート結果の概要

・「知っているが、利用したことがない」理由

- 「運行ルートや停留所，利用の仕方がよくわからないから」が最も多い（約40%）
- 「他の交通手段の方が便利だから」が次いで多い（約40%）



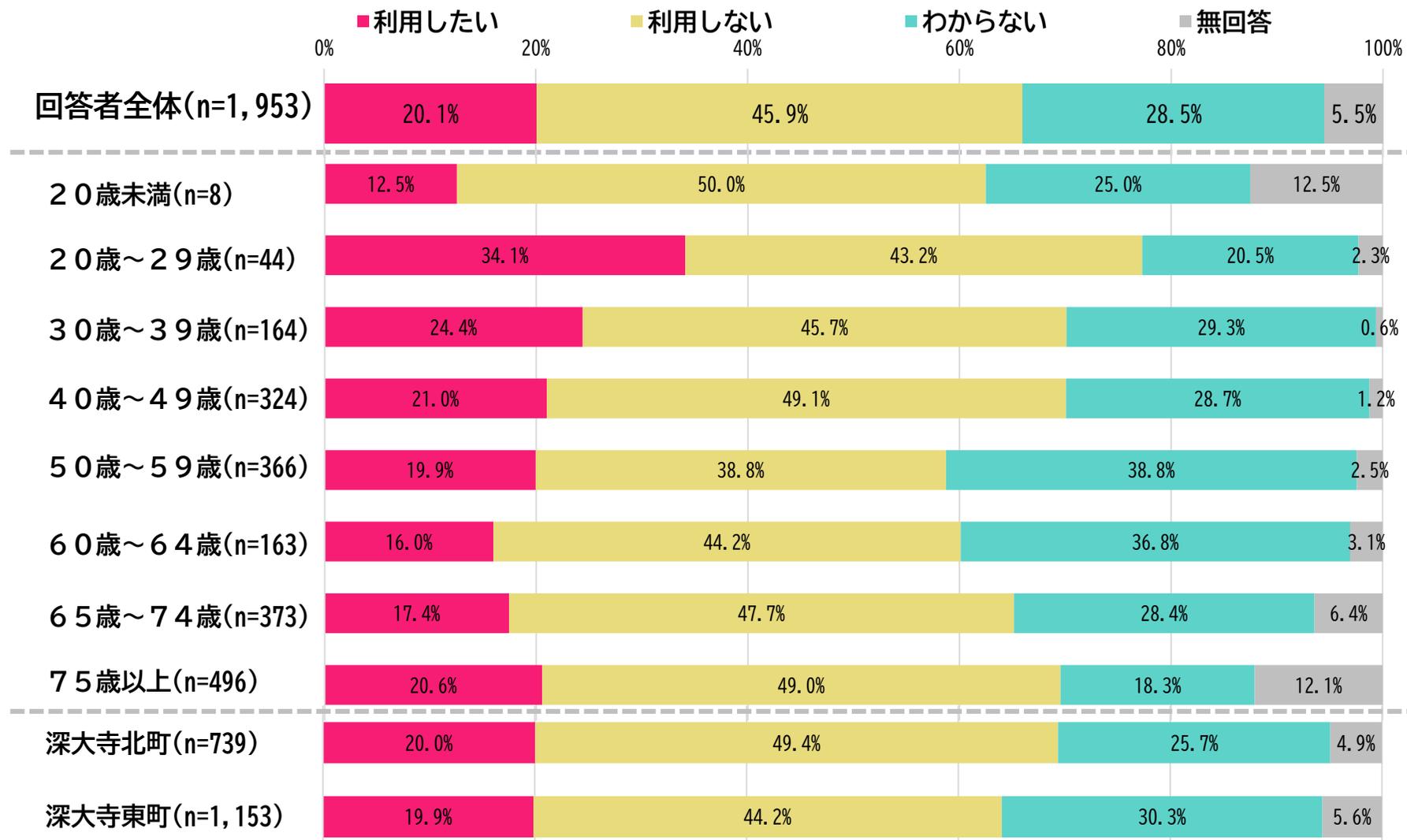
アンケート結果の概要

・デマンド交通の利用意向

○全体では、「利用したい」との回答が約20%

○年代別では、50歳代、40歳代、30歳代と年齢が下がるにつれて「利用したい」との回答が微増

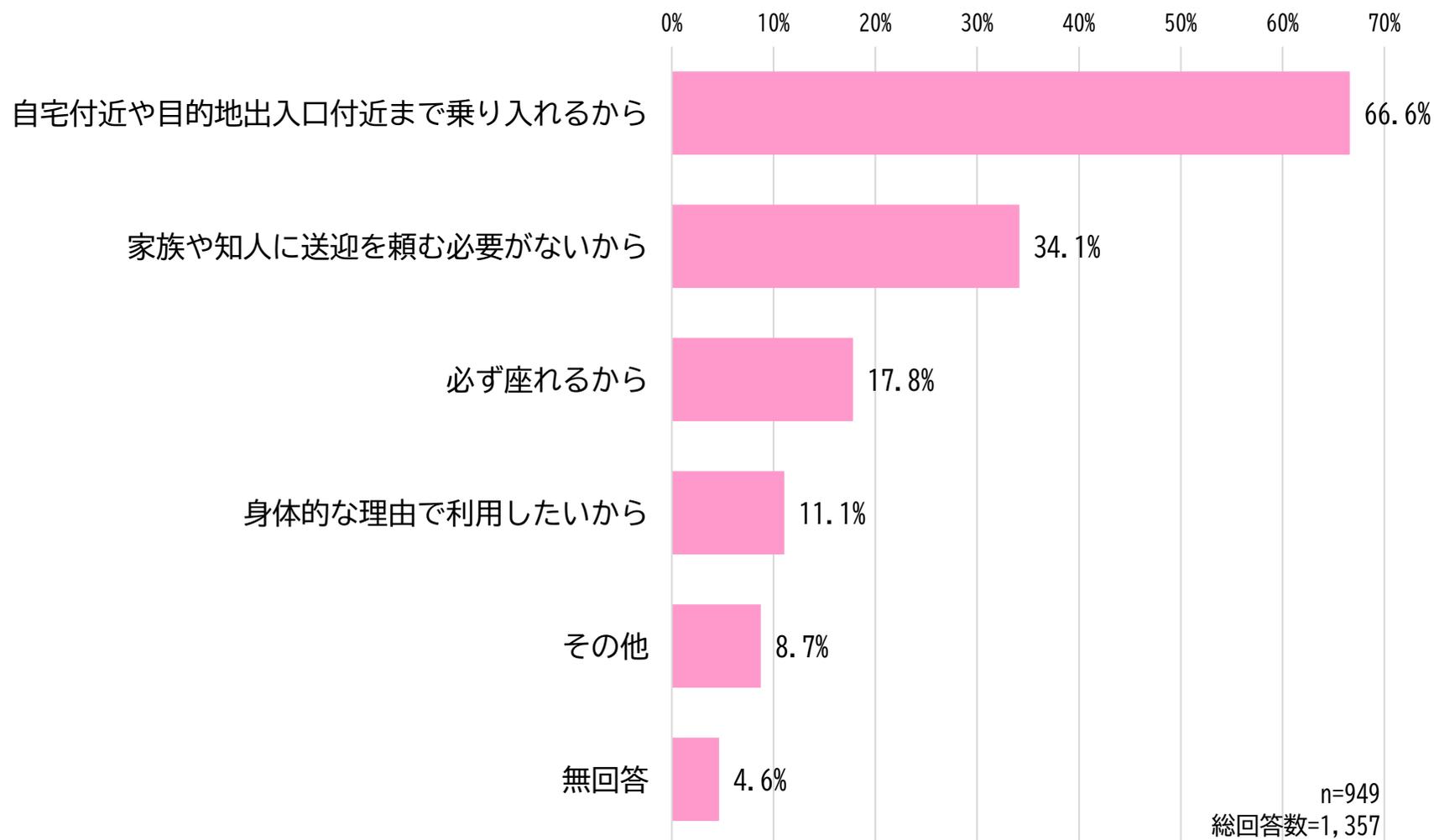
○地域別では、利用意向に大きな差はない



アンケート結果の概要

・デマンド交通を利用したい理由

- 「自宅付近や目的地付近まで乗り入れるから」が最も多い（約66%）
- 次いで「家族や知人に送迎を頼む必要がないから」となっている（約34%）



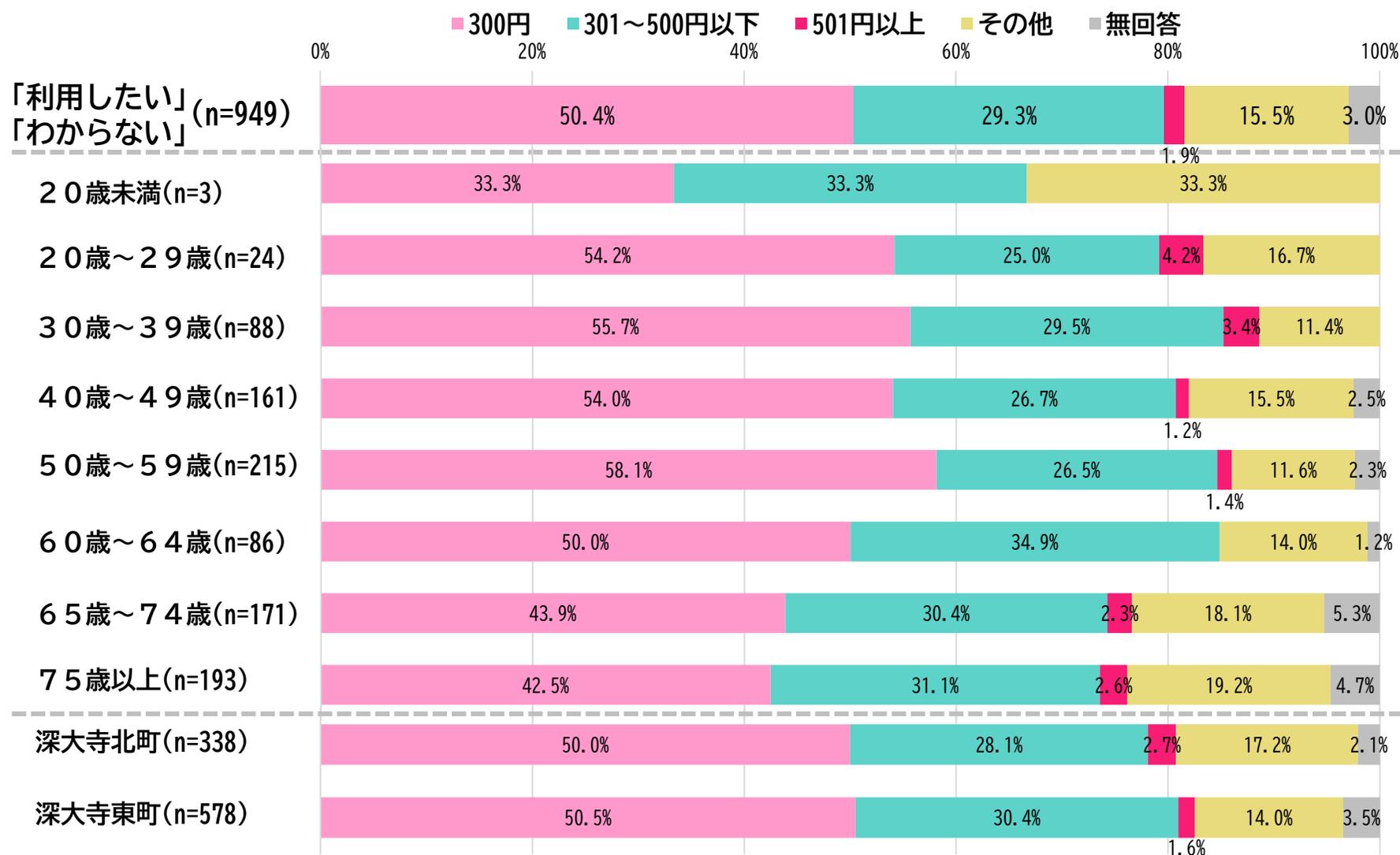
アンケート結果の概要

・ デマンド交通への支払意思額（※回答者は、デマンド交通を「利用したい」又は「わからない」のどちらかを選択）

○全体では、300円との回答が約50%

○年代別では、60歳代以上の約30%が301～500円と回答

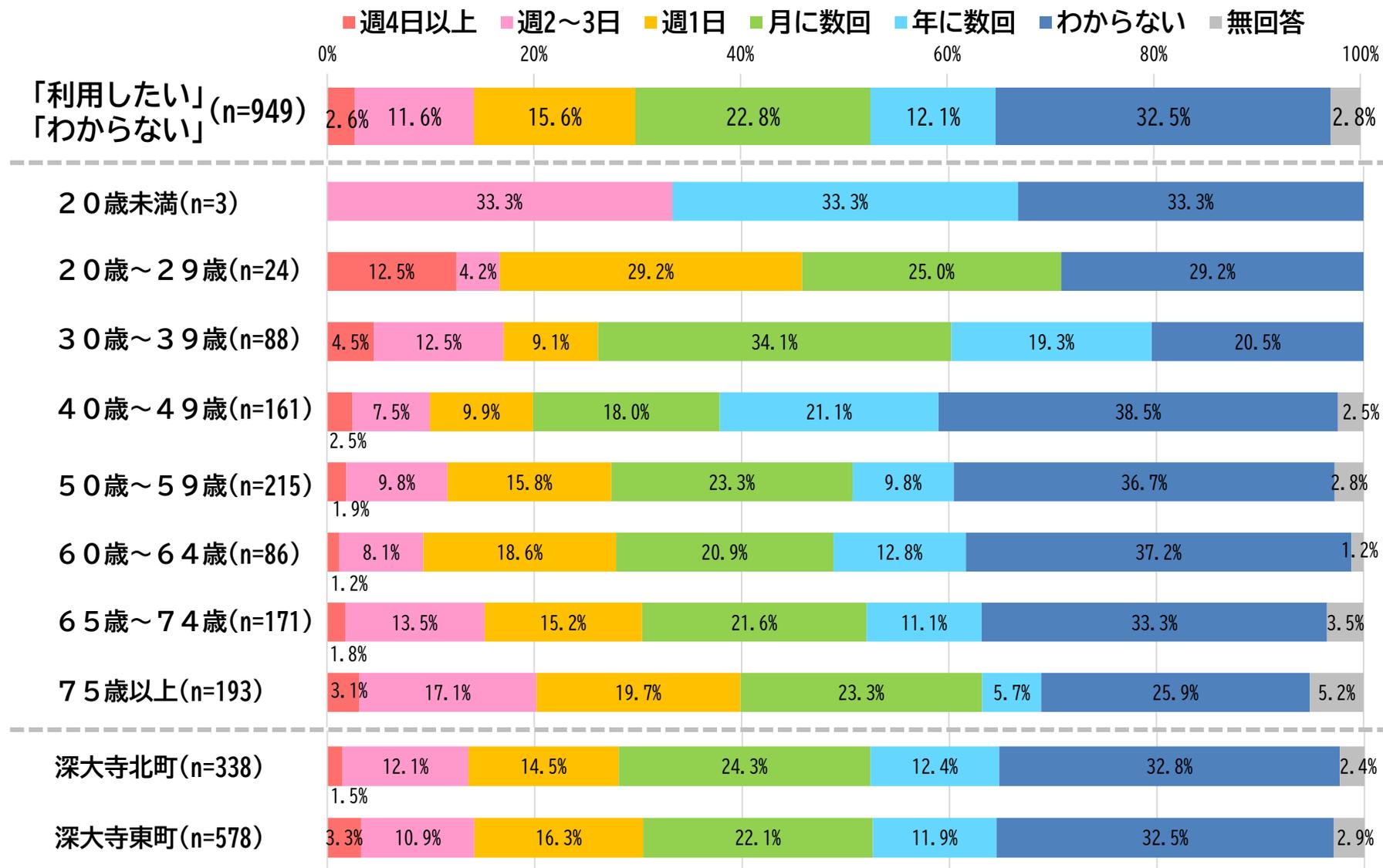
○地域別では、支払意思額に大きな差はない



アンケート結果の概要

・ デマンド交通の利用頻度 (※回答者は、デマンド交通を「利用したい」又は「わからない」のどちらかを選択)

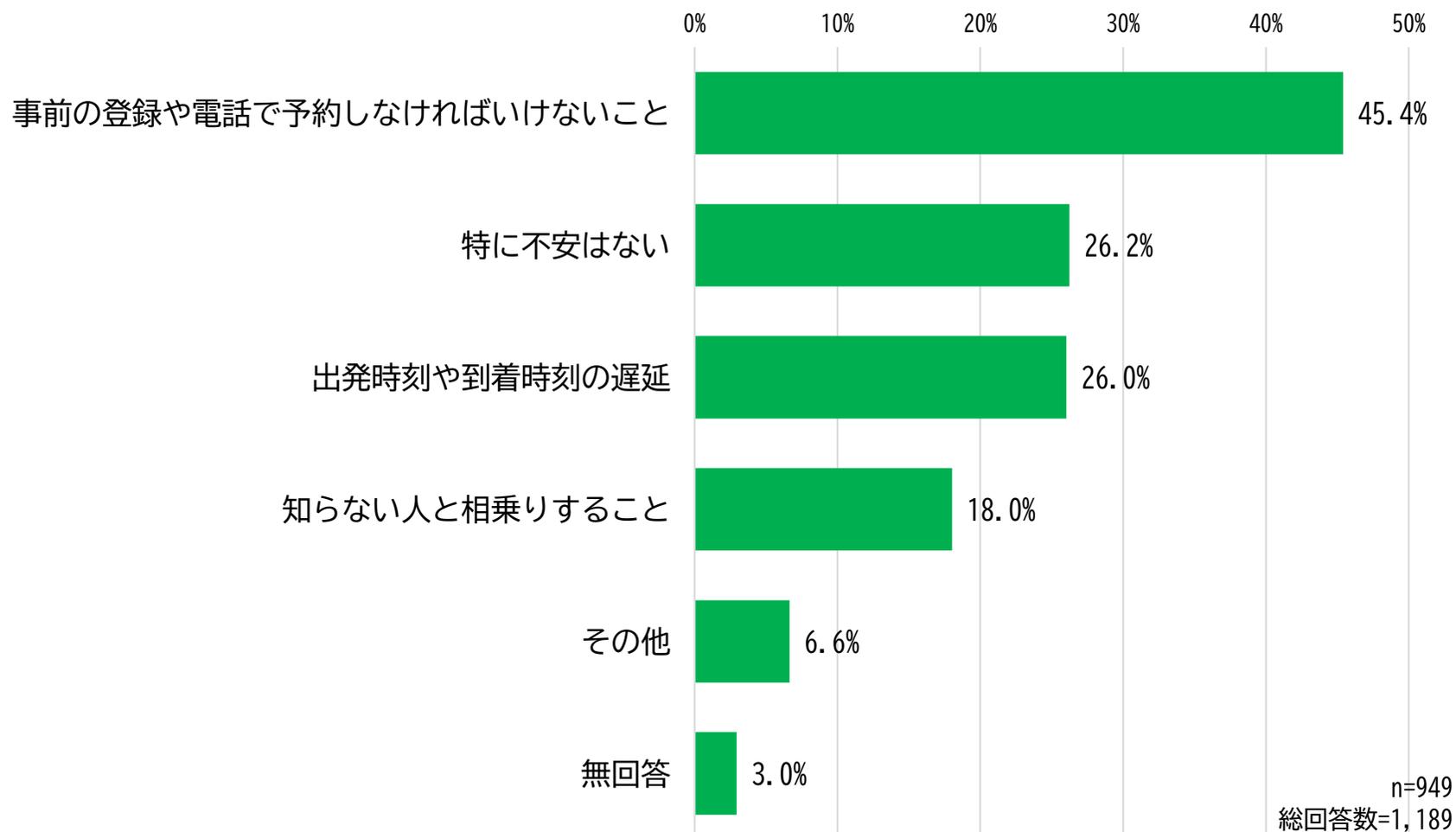
- 全体では、「月に数回」が最も多く (約23%) , 「週1日」が次いで多い (約16%)
- 地域別では、利用頻度に大きな差はない



アンケートの結果概要

・ デマンド交通の不安なこと（※回答者は、デマンド交通を「利用したい」又は「わからない」のどちらかを選択）

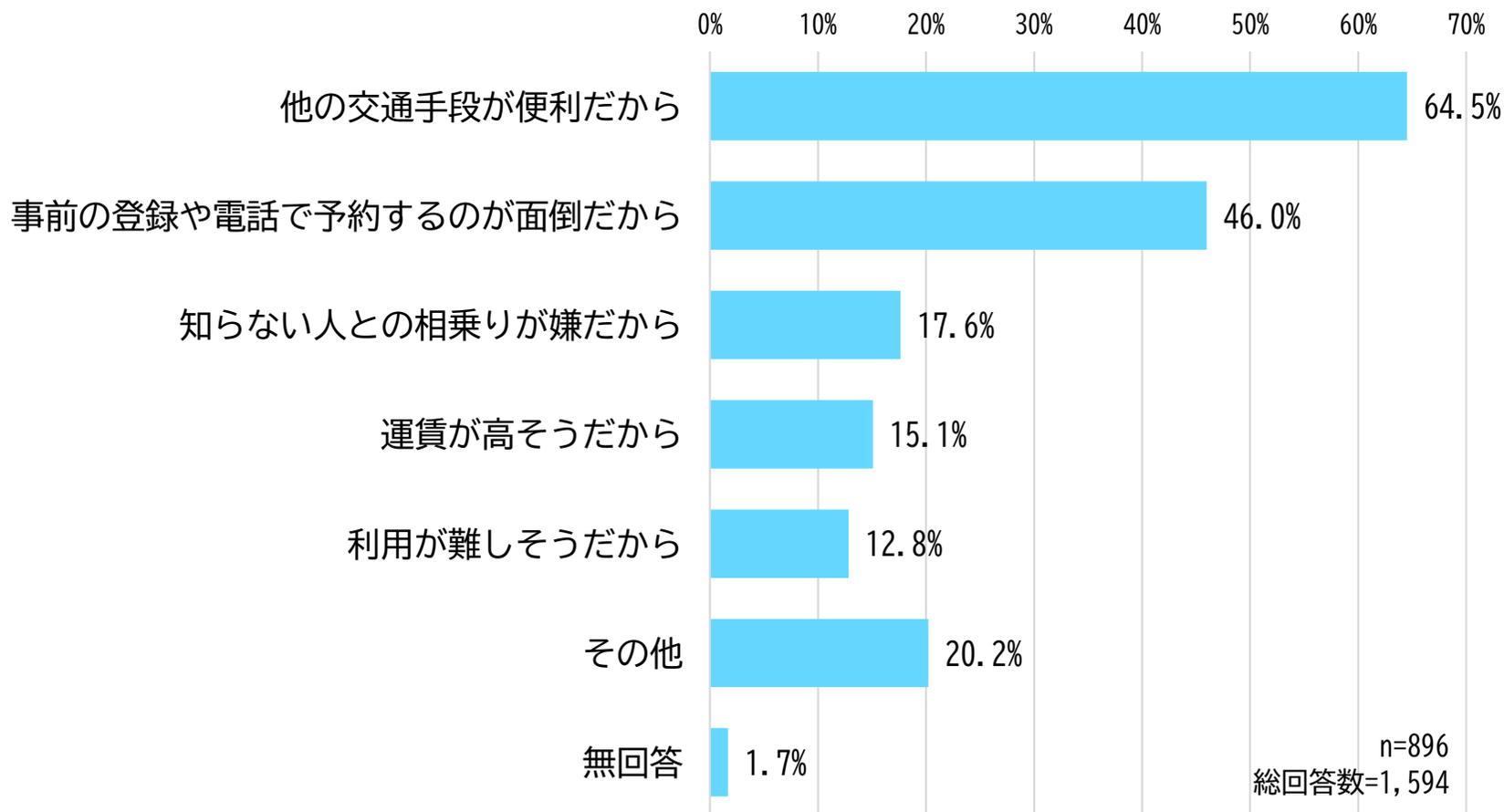
○ 「事前の登録や電話での予約しなければならない」が最も多い（約45%）



アンケート結果の概要

・ デマンド交通を利用しない理由（※回答者は、デマンド交通を「利用しない」を選択）

- 「他の交通手段が便利だから」が最も多く（約65%）、「事前の登録や電話で予約するのが面倒だから」が次いで多い（46%）

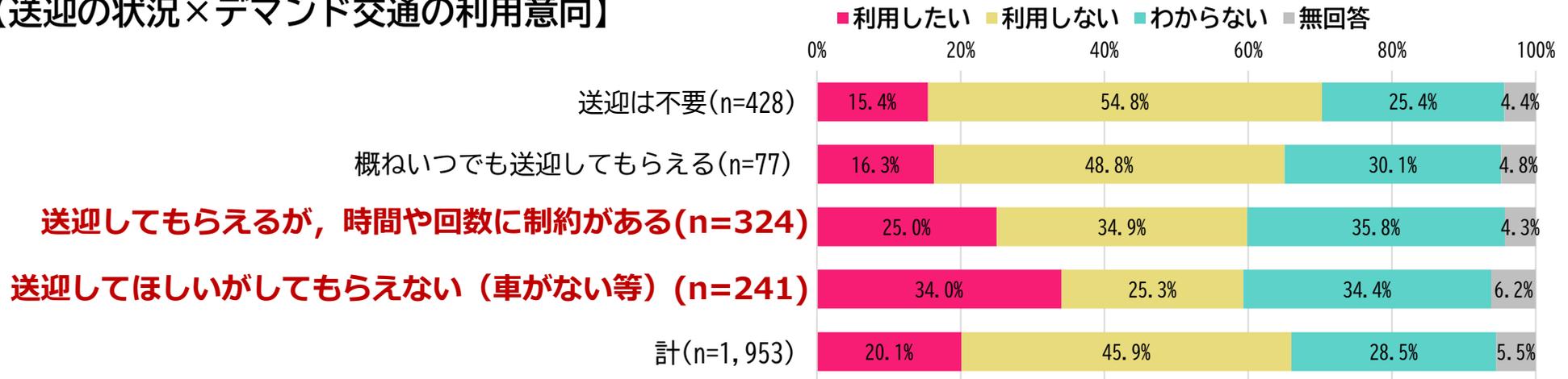


アンケート結果のまとめ

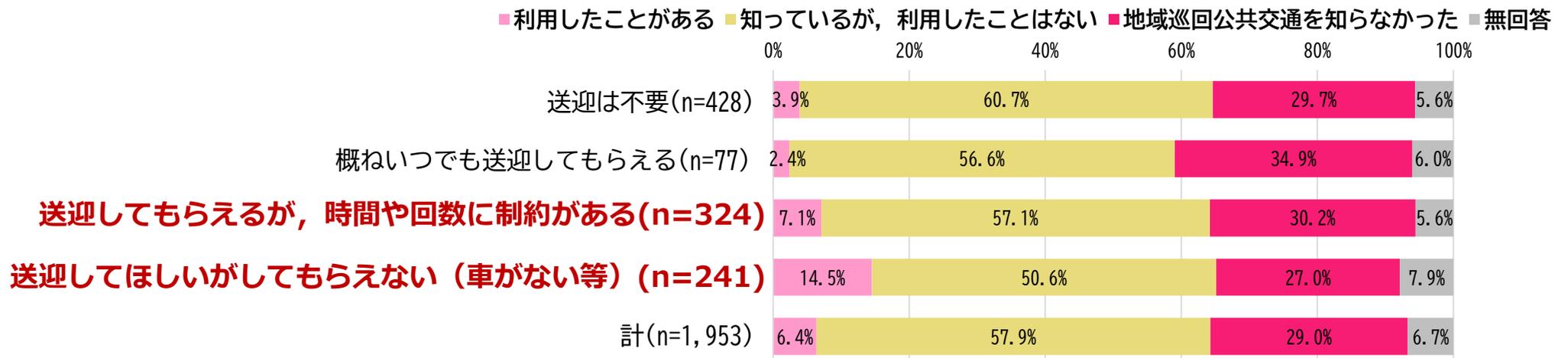
・送迎に制約がある方へのデマンド交通

- デマンド交通に関して送迎の状況別にみると，送迎に制約がある方において利用意向が高い
- 巡回公共交通は，送迎に制約がある方でもあまり利用されていない

【送迎の状況×デマンド交通の利用意向】



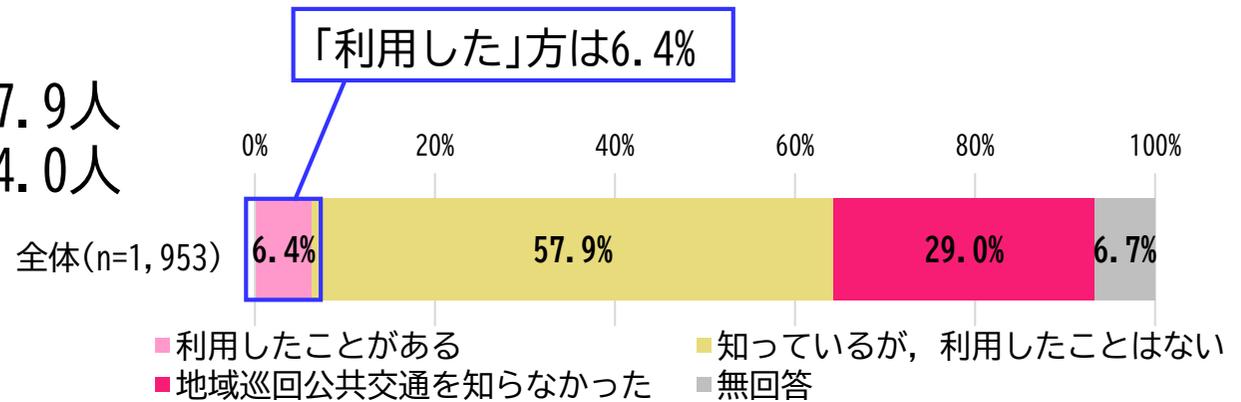
【送迎の状況×巡回公共交通の利用状況】



アンケート結果のまとめ

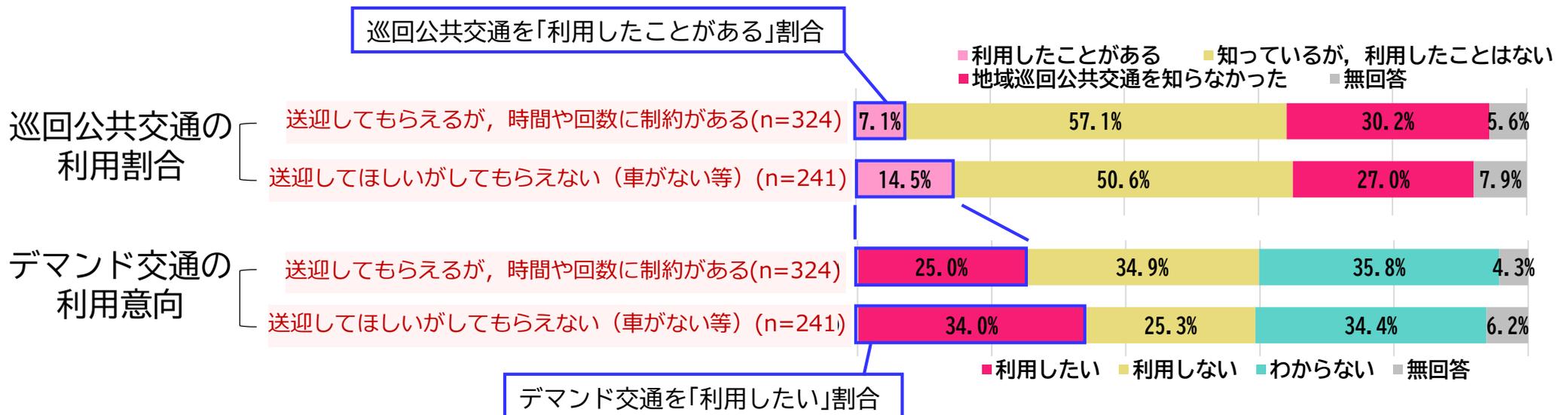
・利用者が限定的である

延べ利用者数の1日平均利用者数：27.9人
 延べ利用者数の1便平均利用者数：4.0人



・送迎を必要とする人にも巡回公共交通は利用されていない

定時定路線交通（路線定期運行）より、デマンド交通（区域運行）の方がポテンシャルを持っている



※デマンド交通の利用意向については、仮想的な条件を示した上での回答であるため留意が必要である

アンケート結果のまとめ

【アンケートを通じて寄せられた意見】（抜粋）

○巡回公共交通のバスの継続を希望

- ・コミュニティバスは車に乗れなくなったら利用すると思うので継続を希望
- ・できれば現在のルートを実行するコミュニティバスが良い。運賃を払ってもこのルートがあると嬉しい
- ・今は利用しないが、数年先は利用するかもしれない

○巡回公共交通の改善点や課題

- ・このバスは便利なところを通っているが、往復での利用は困難。用事が済んでも1時間くらい待つことや、時間をつぶすものが周りにない。有料でいいので本数の増加や逆回りルートなどがあれば良い
- ・現在の実証実験ルートは北町からランチへ行くのに大回りになるため、逆方向ルートがあればいいと思っている。
- ・巡回バスより、調布行のバスを増やして欲しい。1日数本のバスは無意味
- ・クリニックの午後の診療は3時からだが、ワゴン車の運行は早く終わるので、帰宅には利用出来ない
- ・東町3, 4, 7丁目の人々が望むルートでない。行きたいところへ行けない
- ・定時のコミュニティバスがあると嬉しい。北部地区は特に横移動が不便なので、これが解消されると助かる。杏林大学まで行けると便利

○デマンド交通の導入

- ・高齢者がインターネットやスマホを使って予約出来るのか疑問
- ・免許証返納後、バスの他に頼るものがない場合は、デマンド型交通を利用できればありがたいと思う
- ・予約はいつまでにするのか？前日までだと使い勝手がすごく悪いため、せめて1時間前くらいだと良い
- ・仮にデマンド交通を取り入れても、広く地域住民に周知し利用を呼びかけないと、同じ結果になってしまうのでは
- ・デマンド型交通を運用すれば、小さな子ども連れの方にはとても助かると思うので、児童館や産婦人科などで広く周知すればいいと思う

○タクシー補助券など

- ・近距離での移動にはタクシーの迎車の方が便利
- ・1人1回2,302円かかるなら、2,000円分のタクシー利用券をもらう方がよい
- ・タクシーの活用を推進する方がよい。民間資源の有効な活用は経済の活性化につながる
- ・「定時運行のバス」方式は1時間に2本は必要だが、この地域ではそれほどの利用者はいない。「無料タクシー券」の方がよさそう
- ・ワクチン接種時に実施したタクシー券の配布はどうか

○事業にかかる費用について

- ・税金で補填すると、利用しない人は不公平を感じてしまう
- ・今後も利用が増えるとは思えない。血税を無駄に使っている
- ・「無料でバスを運行する」というのはよくない。その分税の負担は増えるし、利用しない私たちの税の負担が増えるのはおかしい。高齢者はシルバーパスがあり、料金も安い。働き子育てをしている30~50代世代が一生懸命がんばって働いても、その税金で高齢者ばかりよい思いをしているのが現状。どうしてもやりたいのであれば、きちんと平等に利用者から料金を取るべき

○公共交通全般について

- ・デマンド型、コミュニティバスいずれもあれば便利だが、採算が取れるようにすると頻度が減り、不便になるのではないかと思う。その他のスキーム(例えば広告収入)との組み合わせなどが必要ではないか

○その他

- ・武蔵境通、東八通のバスの本数を増やしてほしい。ライトレール的なものを設置するなど
- ・車が使えなくなったら引越そうと思っている
- ・今は動けるし車も使えるが、あと5年したら(70才)どうなるのか、タクシーを毎日使う余裕はない
- ・調布駅周辺の支援は多くあるのに北部地域への支援が少なく思う

北部地域巡回公共交通の実証実験（無料）のまとめ

【ニーズ／これまでに寄せられた意見】

- 運行ルート・乗降場所
 - ・杏林大学病院まで運行してほしい
 - ・運行ルートの逆方向も運行してほしい
- 運行本数や運行日の増加
 - ・運行時間帯，運行曜を増やしてほしい
- その他
 - ・ミニバス北路線の増便
 - ・需要がある時のみ(事前予約)運行できれば良い
 - ・高頻度で利用する場合，有料だと負担になる

【現状／利用実績・アンケート】

- 利用状況
 - ・利用者が限定的である
- 運行経路
 - ・（本格実施に向けた）バス停留所の設置が困難
 - ・目的地によっては，時間がかかる
- 道路環境
 - ・道路の幅員が狭く，一方通行の箇所がある
- 公共交通全体
 - ・南北方向の幹線バスは比較的充実
 - ・目的の行先に向かう幹線バスを利用するための東西方向の移動手段が限られる
- 経費
 - 1人1回の利用で約2,202円（※）

【北部地域の公共交通の実証実験（有償）の課題】

- 1 対象地域における道路の多くが狭く，バス（路線バス・ミニバス）を適切に導入することは難しい
- 2 柔軟な運行が可能な運行態様（交通手段）であることが必要
- 3 移動に不便を感じている方々が利用できる形での運行

※ 算出方法

639万円（R4.1/28～R5.1/31の経費）÷104日（運行日数）÷27.9人（1日当たりの平均利用者数）≒2,202円

次期北部地域の公共交通の実証実験（有償）の方針（案）について

ニーズ・現状・課題を踏まえ、

【運行事業者】

バス又はタクシー事業者

【運行態様】

区域運行（デマンド型交通）

【運賃】

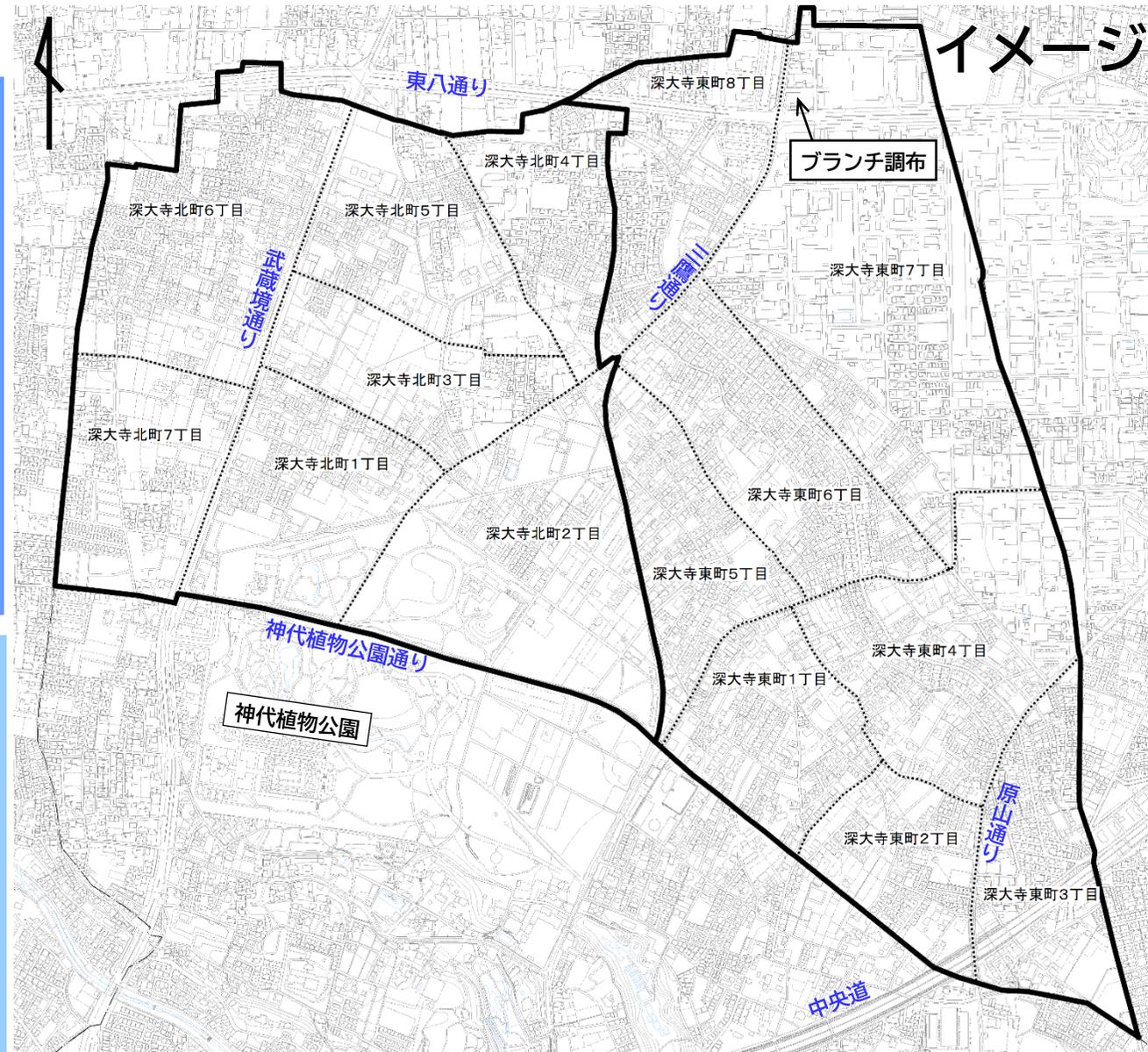
有償

【運行区域】

概ね深大寺北町，深大寺東町（右図）

○今後の取組

- ・ 地域との意見交換
- ・ 事業者の選定
- ・ 乗降場所の選定及び地先交渉
- ・ 関係機関等との協議
- ・ 国土交通省への申請
- ・ チラシ等による周知や説明会等の実施など



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。
(承認番号) 4都市基交著第29号